

学校生活において配慮すべきこと（モデル案） 一宮市立丹陽南小学校

登校前 ☐健康チェック（家庭で Google フォームの「健康チェック」を送信） **の徹底**
☐集合場所・通学団（大人数で密集しない、近距離で会話・発声を控える、1列で並び）

登校	☐ 手洗い ☐ 水分補給 ☐ 自席につく（席配置の工夫） ☐ 窓を開ける	☐ マスク着用 ☐ 可能な限り換気（廊下側と窓側を対角に開ける） ☐ 近距離で会話をしない ☐ 集まらない ☐ エアコン使用時も換気 ☐ 手洗い ☐ 適宜、扇風機を活用する ☐ 目鼻口をさわらない	★常時換気が難しい場合 →こまめに（30分に1回以上）数分程度、窓を全開
南タイム 朝読書 朝の会	☐ 健康観察 ☐ 健康チェックカード回収（一部） ☐ 検温を忘れた子の検温 <全校で実施> ☐ 教員が確認しながら手洗い ☐ 手の消毒 （水流し放し・学級毎などローテーション計画）		全ての場面での共通事項 ☆次の3つの条件が重なる場を徹底的に避ける
12限	☐ 体育の授業では、可能な限り屋外で実施する ・屋内で実施する必要がある場合は、特に呼吸が激しくなるような運動は避ける ・運動を行っていない場合は、可能な限りマスク着用 ・なるべく個人で行う活動とし、特定の少人数（2～3人程度）での活動を実施する際は十分な距離を空けたり、パーティションを使用したりする ・ボール・用具・器具等の使用前後の手洗い ☐ 次のような学習活動は 一時停止 ・長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等及び 近距離で一斉に大きな声で話す活動 ・近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏 ・ 近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動 ・近距離で活動する調理実習		①密閉空間であり、換気が悪い ②手の届く距離に多くの人がいる ③近距離での会話や発声がある 体調不良者の対応 （登校後も）体調の観察に努める。体調の不調に気づいた場合には、すみやかに養護教諭等と連携し、迅速な対応をとる ☆体調不良者との接触機会を減らす
中間放課	☐ 近距離で会話・発声を控える ☐ 手洗い ☐ 水分補給		
34限			
給食	<全校で実施> ☐ 教員が確認しながら手洗い ☐ 手の消毒 （水流し放し・学級毎などローテーション計画） ☐ 手の消毒 ☐ 全員前向き ☐ 配膳台・お盆消毒 ☐ 給食当番の健康チェック（担任） ☐ 大声での会話を控える ☐ 食事後の歓談時には必ずマスク着用 ☐ アレルギーのチェック		☐ 職員が保健室へ引率 ☐ 基本的に保健室で対応 ☐ 体調不良者とけが人をエリア分けする （パーティション、別室など） ☐ 職員室との連絡手段の確保（インターホン・携帯） ☐ ベッドは極力使用しない ☐ 発熱、体調不良者は帰宅させる ☐ 緊急対応は全職員で行う
掃除	☐ 換気 ☐ マスク着用 ☐ 掃除後に石けんで手洗い		
昼放課	☐ 近距離で会話・発声を控える ☐ 手洗い ☐ 水分補給		
56限	☐ 午後の健康観察		
下校	☐ 通学団 （大人数で密集しない、近距離で会話・発声を控える、1列で並び）		
下校後	☐ 必要に応じて保健室や主に子どもが触れる場所の消毒		

帰宅後 ☐すぐに手洗い ☐健康確認 ☐不要な外出は避ける **（特に 20 時以降）**